

3章 国の社会基盤整備の動向

3-1. 国の社会基盤整備に係る計画

現在の国土づくりは、「長崎県の道づくり基本方針（H28～R2）」が策定された平成27年12月以降、社会基盤整備に関わる「国土強靱化基本計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第5次社会資本整備重点計画」が見直されました。いずれの計画も、平成26年に策定された「国土のグランドデザイン2050」を受けて作成されたものです。

これら計画では、主に「急激な人口減少と少子高齢化」や「東京など大都市への集中と地方の低活力」、「切迫する巨大災害」といった現在のわが国が抱える社会情勢や問題点が示され、それらを踏まえた将来の望ましい国のあり方や、それに基づく社会基盤整備の方向性などが設定されています。

表 3-1 社会基盤整備に関連する主な計画

計画	策定年	基本構想や視点など	戦略や方向性、施策、キーワードなど
国土のグランドデザイン2050	平成26年	多様性と連携による国土・地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■国土の細胞としての「小さな拠点」と、高次地方都市連合等の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・攻めのコンパクト・新産業連合・価値創造の場づくり ・都市機能維持に向けた交通1時間圏の拡大等 ・田舎暮らしの促進による地方への人の流れの創出 ・美しく、災害に強い国土 ・ビッグデータ等ITS技術の活用による円滑かつ安全な道路交通サービス実現 ・日本海・太平洋2面活用型国土と圏域間対流の促進 ・国の光を観せる観光立国の実現 ・子供から高齢者まで生き生きと暮らせるコミュニティの再構築 ・民間活力や技術革新を取り込む社会 ・対流を促進する交通基盤の構築（拠点間やマルチモーダル間の連結など） ・国土・地域の担い手づくり ・小さな拠点の形成（道の駅など） ・対流促進型国土の形成 ・コンパクト+ネットワーク ・インフラを賢く使う（時間損失、交通安全など）
国土形成計画（全国計画）	平成27年	地域間におけるヒト、モノ、カネ、情報の活発な動きである「対流」が、全国各地でダイナミックに湧き起こる「対流促進型国土」の形成	<ul style="list-style-type: none"> ■ローカルに輝き、グローバルに羽ばたく国土 <ul style="list-style-type: none"> ・個性ある地方の創生 ・活力ある大都市圏の整備 ・グローバルな活躍の拡大 ■安定した社会を支える安全・安心な国土 <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心で持続可能な国土の形成 ・国土基盤の維持・整備・活用
九州圏広域地方計画	平成28年	日本の成長センター「ゲートウェイ九州」～新しい風を西から～	<p><重点的に取り組むべき基本的な対応方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の成長センター「ゲートウェイ九州」 ・三層の重層的な圏域構造からなる「元気な九州圏」 ・巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」 <p><九州圏の将来像の実現に向けた5つの戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアゲートウェイ機能の強化 ・九州圏の活力を創出する交流・連携の促進 ・九州圏の基幹産業や地域産業の活性化 ・九州圏の圏域機能の向上と連携の強化 ・九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全
第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和元年	将来にわたって「活力ある地域社会」の実現、「東京圏への一極集中」の是正	<p><基本目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする ・結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる ・ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる <p><横断的な目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代の流れを力にする ・多様な人材の活躍を推進する <p><道づくりに関するキーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市のコンパクト化と周辺等の交通ネットワーク形成 ・居心地がよく歩きたくなるまちなかの創出 ・地域交通安全の確保 ・ユニバーサルデザインの街づくり ・自動運転、MaaSをはじめとする新たなモビリティサービス ・集落生活圏内外をつなぐ交通ネットワーク機能の強化 ・効率的なインフラ維持管理
【見直し】国土強靱化基本計画	平成30年	「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築	<p><基本目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人命の保護 ・国家・社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される ・国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ・迅速な復旧復興 <p><道づくりに関するキーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通・物流施設の耐災害性向上 ・「重要物流道路」の機能強化 ・無電柱化等の対策推進 ・代替輸送ルート整備 ・広域応援の受入拠点整備 ・通行止めや通行状況の情報提供 ・災害対応力強化 ・インフラ老朽化対策
第5次社会資本整備重点計画	令和3年	「真の豊かさ」を実感できる社会の構築	<p><3つの中長期的目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心の確保 ・持続可能な地域社会の形成 ・経済成長の実現 <p><6つの短期的目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 防災・減災が主流となる社会の実現 2. 持続可能なインフラメンテナンス 3. 持続可能で暮らしやすい地域社会の実現 4. 経済の好循環を支える基盤整備 5. インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション（DX） 6. インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上

3-2. 国の道路施策の動向

道路整備においては、平成30年3月の道路法改正により「重要物流道路制度」が創設され、国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として指定し、平常時・災害時を問わない安定的な輸送確保のため機能強化、重点支援を実施することとなりました。

上記制度を契機として、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化や、進展するICT・自動運転等の技術を活用するなど道路ネットワークの付加価値の向上を図る「新広域道路交通ビジョン」及び「新広域道路交通計画」の検討を進めています。

また、令和2年5月の道路法改正により「歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）の指定制度」、「自動運転補助施設の制度」及び「特定車両停車施設の制度」など、ポストコロナの新しい生活様式や社会構造の変革を見据えた道路の安全と効果的な利用のための新しい制度が創設されました。

令和2年12月には、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、激甚化・頻発化する気象災害から国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図っていきます。

さらに、令和3年5月には、「第2次自転車活用推進計画」が閣議決定され、持続可能な社会の実現に向け、自転車の活用の推進を一層図っていきます。

表 3-2 道路政策の方向性

項目	年度	目的・概要	方向性、施策など
重要物流道路制度の創設	平成29年度	平常時、災害時を問わない円滑な物流の確保	<機能強化・重点支援> ・トラックの大型化に対応した道路構造の強化 ・災害時の道路の啓開・復旧の迅速化（地方管理道路の災害復旧等代行制度の創設） ・民間直結スマートIC [*] に係る無利子貸付制度の創設
歩行者利便道路（ほこみち）の指定制度の創設	令和2年度	地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築	・歩行者の利便増進のための構造基準の策定 ・利便増進のための占用を誘導する仕組みの導入
自動運転補助施設の制度創設	令和2年度	自動運転を補助する施設の道路空間への整備	・自動運転車の運行を補助する施設（磁気マーカール等）を道路附属物に「自動運行補助施設」として位置づけ（民間事業者の場合は占用物件とする）
特定車両停車施設の制度創設	令和2年度	民間と連携した新たな交通結節点づくりの推進	・バス、タクシー、トラック等を停留させるための「特定車両停留施設」を、新たに道路附属物として位置付け ・特定車両停留施設に「コンセッション（公共施設等運営権）制度」の活用を可能とする
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の閣議決定	令和2年度	防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化	<重点的に取組む対策> ・激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 ・予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策 ・国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
第2次自転車活用推進計画の閣議決定	令和3年度	持続可能な社会の実現に向けた自転車活用の一層の推進	<4つの目標> ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成 ・サイクルスポーツの振興等による健康長寿社会の実現 ・サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現 ・自転車事故のない安全で安心な社会の実現

